

富士ダイス株式会社

2017年3月期 第2四半期 決算説明資料



匠の技と信頼の輪

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

目次

FUJILLOY

	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	9
III : 2017年3月期第2四半期 業績概要	17
IV : 2017年3月期 業績見通し	24
V : 成長戦略	29
VI : 参考資料	37

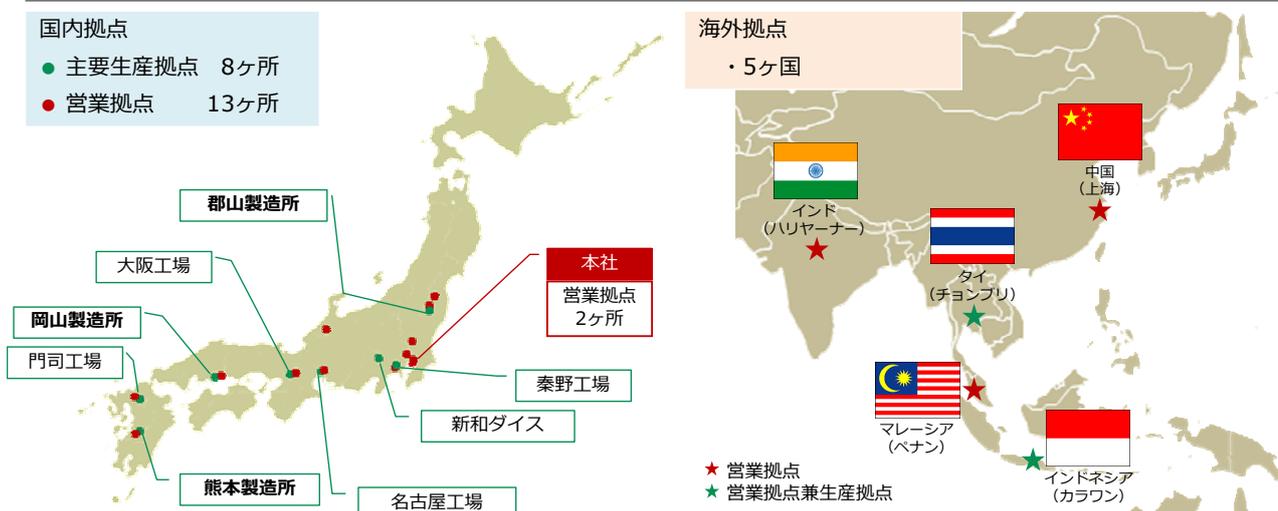
I :	会社概要	2
II :	当社の特長	9
III :	2017年3月期第2四半期 業績概要	17
IV :	2017年3月期 業績見通し	24
V :	成長戦略	29
VI :	参考資料	37

会社概要

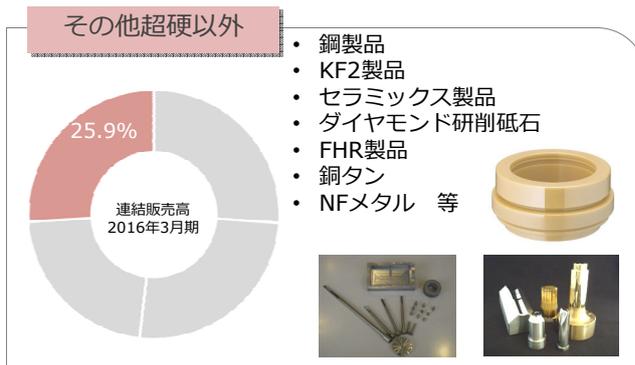
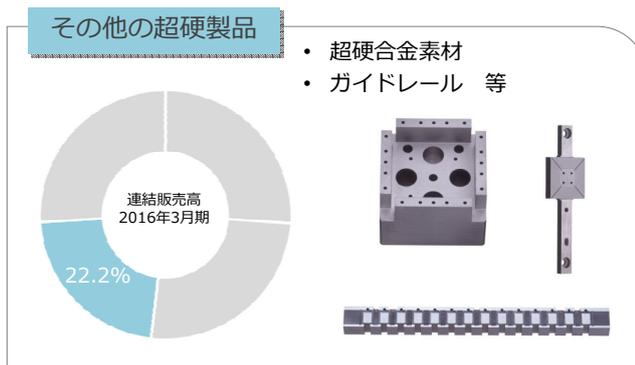
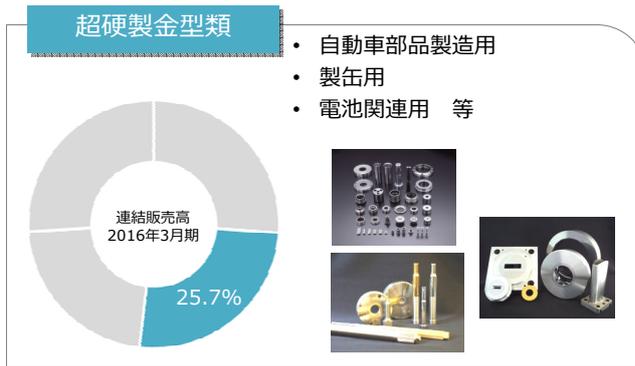
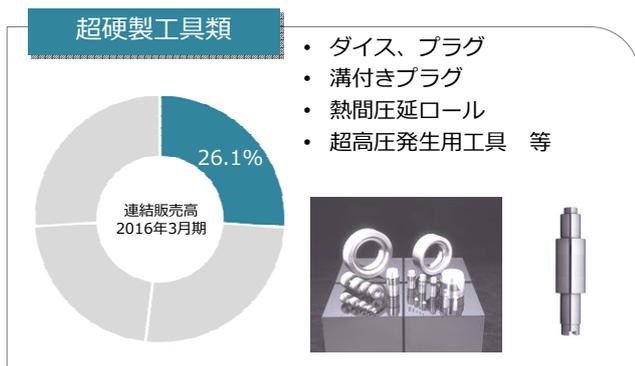
会社概要

商号	: 富士ダイス株式会社	創業	: 1949年6月
所在地	: 東京都大田区下丸子2-17-10	設立	: 1956年4月
資本金	: 164百万円	事業目的	: 超硬合金製の耐摩耗工具・金型の製造・販売
代表者	: 代表取締役社長 西嶋 守男	従業員数	: 1,059名 (2016年3月期末、連結)

拠点 (2016年10月31日現在)



■ 超合金製を中心とした工具・金型（耐摩耗工具）製造に特化



耐摩耗工具とは？（ダイスとプラグ）

- 超高精度の金属加工（塑性加工）を実現する工具・金型
- モノ作りのコアな工程における、生産性に直結する重要な部材
- 最適な工具・金型選びが、加工速度、精度に大きく影響

代表的な耐摩耗工具 ダイス・プラグ

ダイス
線材、棒、パイプ等の外径を決める工具

プラグ
線材、棒、パイプ等の内径を決める工具

【ダイス・プラグの使用例】

パイプ

ダイス
引き抜く

プラグ

パイプの径を調整している

ダイス・プラグは多くの製品の製造に用いられる

大型

油井管（石油、天然ガス掘削プラント用配管）

産業機械用リニアガイドレール

丸型

異型

注射針

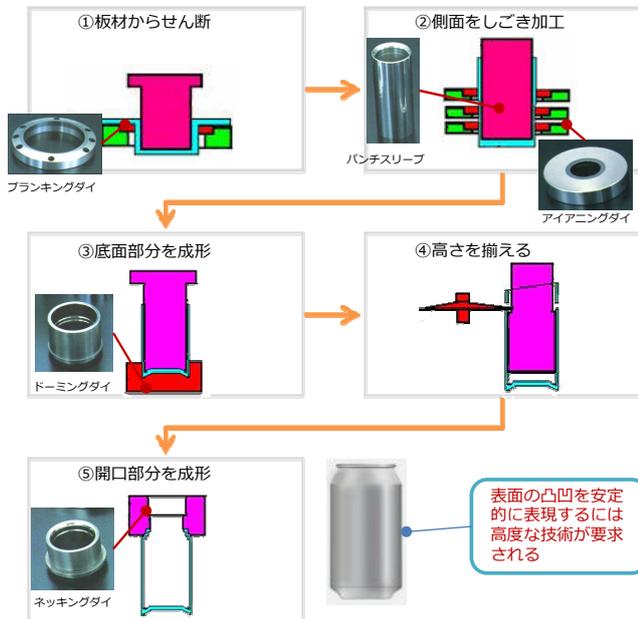
小型

金、白金電気接点（電子部品、点火プラグ）

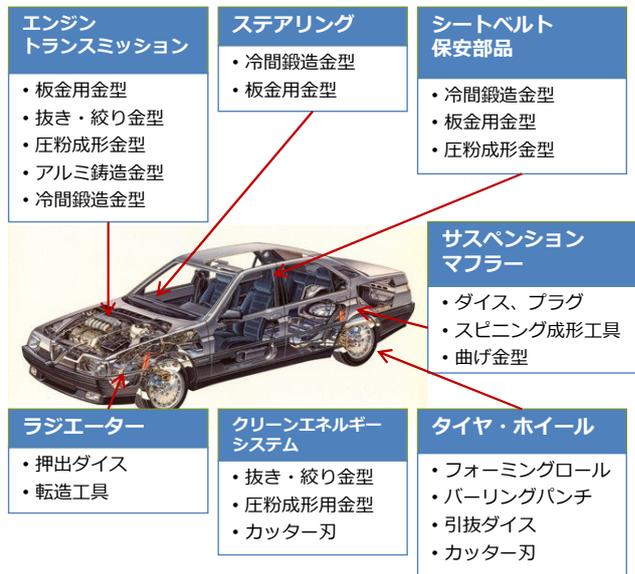
当社は単純形状から複雑形状、超小型から大型まで対応可能な技術力・設備を有しており国内トップシェアを誇る

- 超高精度の金属加工（塑性加工）を実現する工具・金型
- モノ作りのコアな工程における、生産性に直結する重要な部材
- 最適な工具・金型選びが、加工速度、精度に大きく影響

飲料缶の製造工程（軽量化・薄肉化・小型化に貢献）



自動車部品の製造に多く用いられる



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

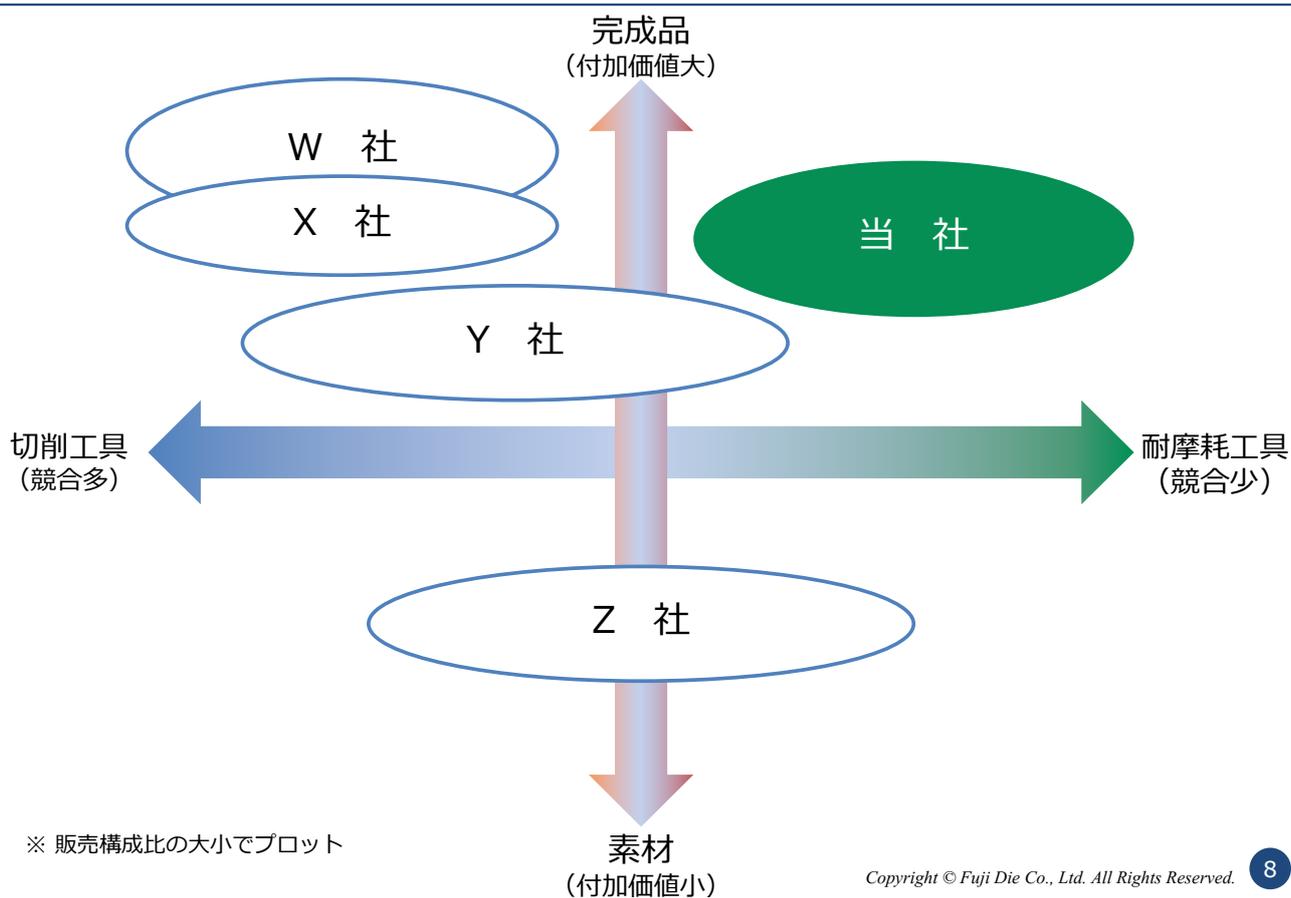
様々な製品の製造工程に用いられる

メイドインジャパンを支える大田区発の技能集団

FUJILLOY



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.



	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	9
III : 2017年3月期第2四半期 業績概要	17
IV : 2017年3月期 業績見通し	24
V : 成長戦略	29
VI : 参考資料	37

POINT1

超硬耐摩耗工具業界で長期に亘り**国内トップ**

POINT2

受注生産・直販体制、**全国をカバー**するネットワーク
取引先は約**3千社**、**業種も多岐**に亘る

POINT3

一貫生産体制により様々なオーダーに柔軟に対応

POINT4

開発力-生産技術力-営業力が競争力の源泉

POINT5

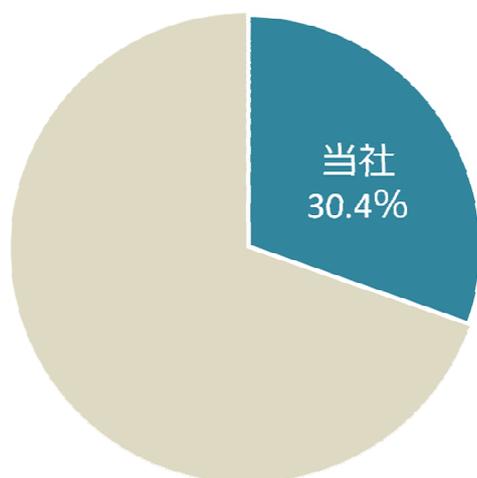
堅固な財務基盤

POINT1

耐摩耗工具専門国内トップメーカー

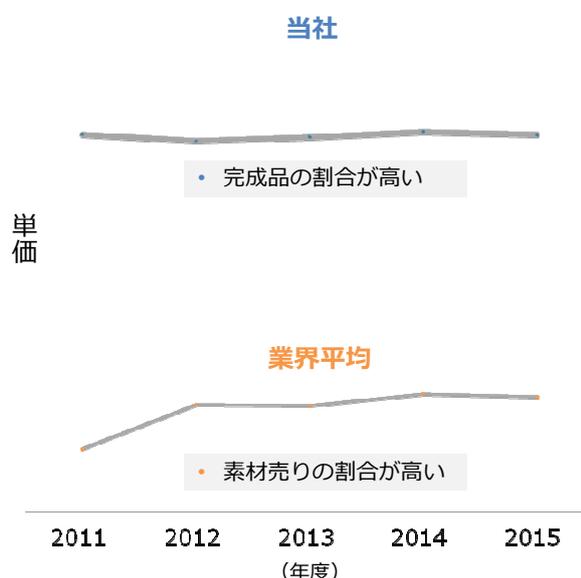
- 国内超硬耐摩耗工具業界で当社は**長期に亘り**、**トップシェア**を堅持
- 少量多品種の**高付加価値製品**の販売が主で、販売価格は**安定**して推移

耐摩耗工具国内出荷額シェア（2015年度）



出所：日本機械工具工業会

製品の平均単価の推移



- 業界最大の約100名の営業員による**直接販売網**を構築
- メンテナンス（修理・再研磨）により**高いリピート率**を実現

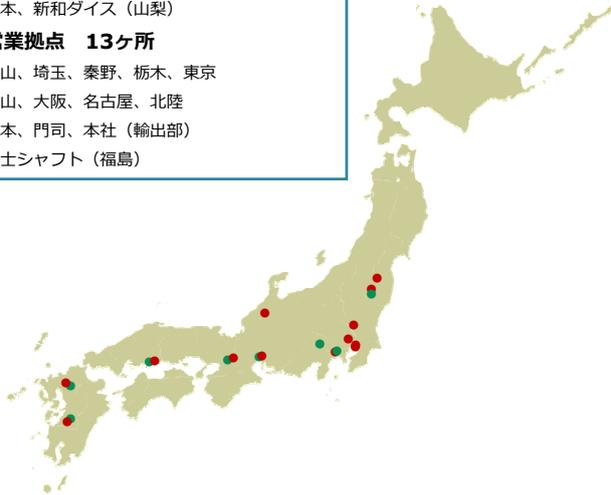
拠点網（2016年10月31日現在）

主要生産拠点 8ヶ所

郡山、秦野、名古屋、大阪、岡山、門司
熊本、新和ダイス（山梨）

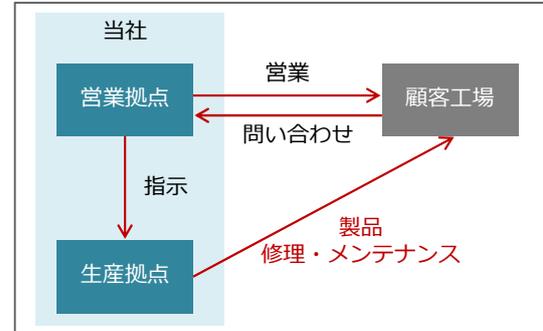
営業拠点 13ヶ所

郡山、埼玉、秦野、栃木、東京
岡山、大阪、名古屋、北陸
熊本、門司、本社（輸出部）
富士シャフト（福島）



顧客との強固なネットワーク

- リレーションを強化することにより、顧客の要望に対しタイムリーに対応
- 顧客の生産効率アップに繋がる提案が可能



顧客ニーズ

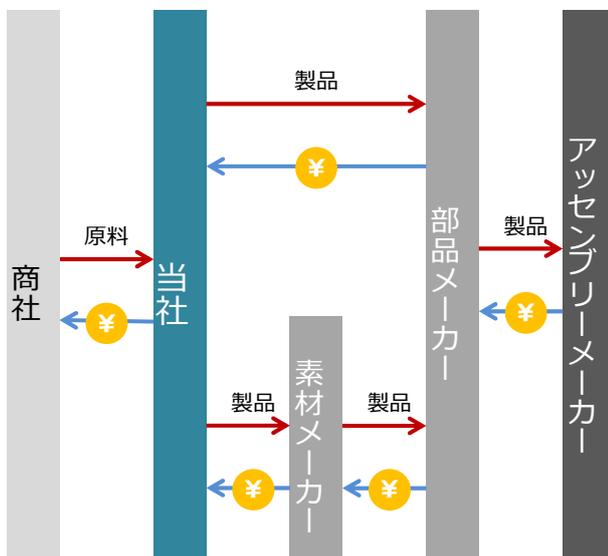
- 製品自体の耐摩耗性や精度の高さ
- 設計思想や生産体制に合った製品

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

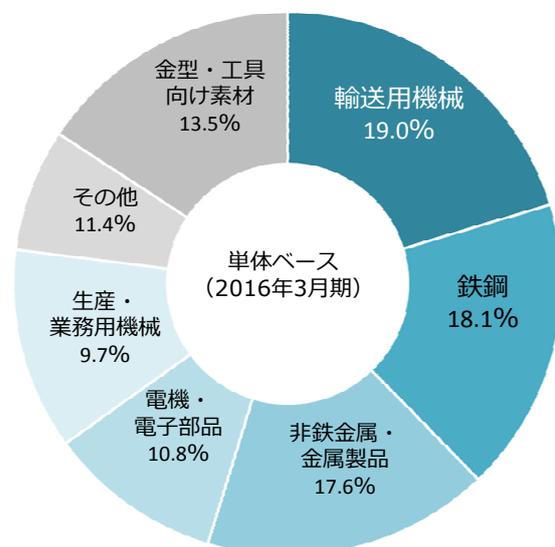
12

- 少量多品種の顧客毎の**カスタムメイドの受注生産・直接販売**を行う
- 取引社数は**約3千社**、業種も幅広い
- 特定の系列に属さない**独立系**のため様々な業界、企業と取引が可能

事業フロー



顧客産業分類別売上構成比率



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

13

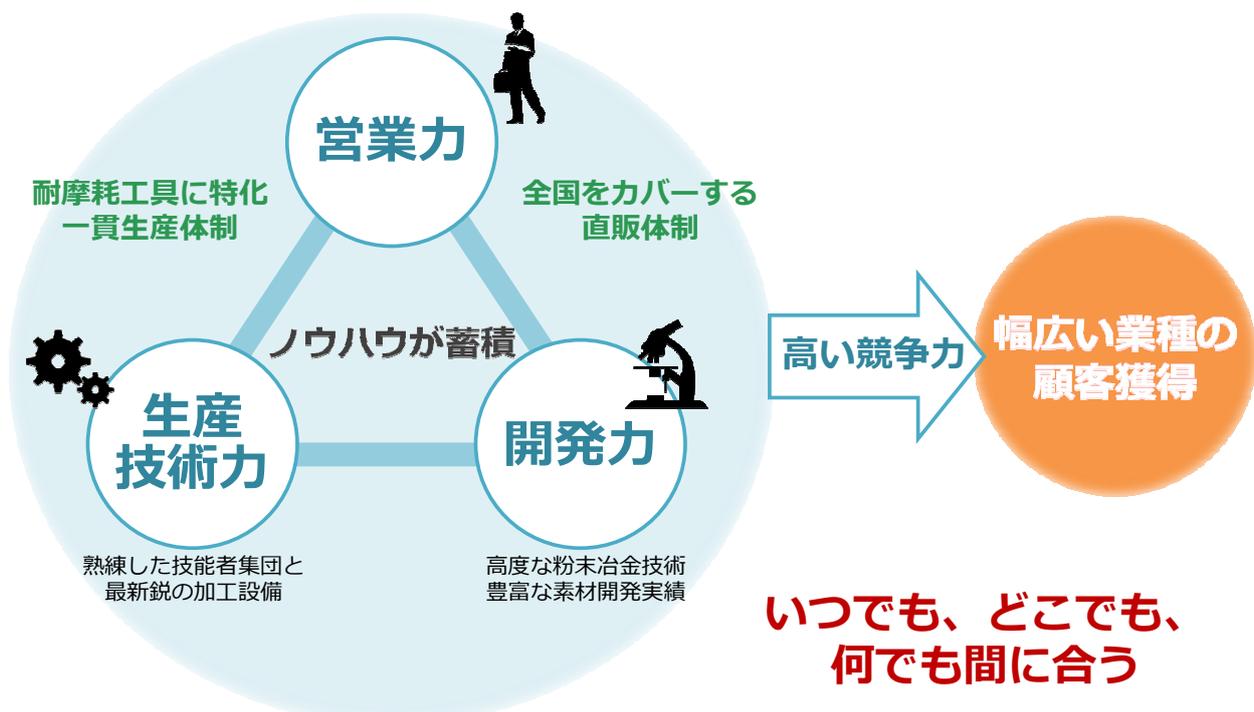
- 設計から原料粉末の調製、焼結、機械加工、製品検査まで一貫した受注生産体制
- 高度な粉末冶金技術と加工技術
- 様々なオーダーに対し柔軟に対応が可能（多品種・少量生産）



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

14

- 開発力、生産技術力、営業力が相まって、高い競争力を創出

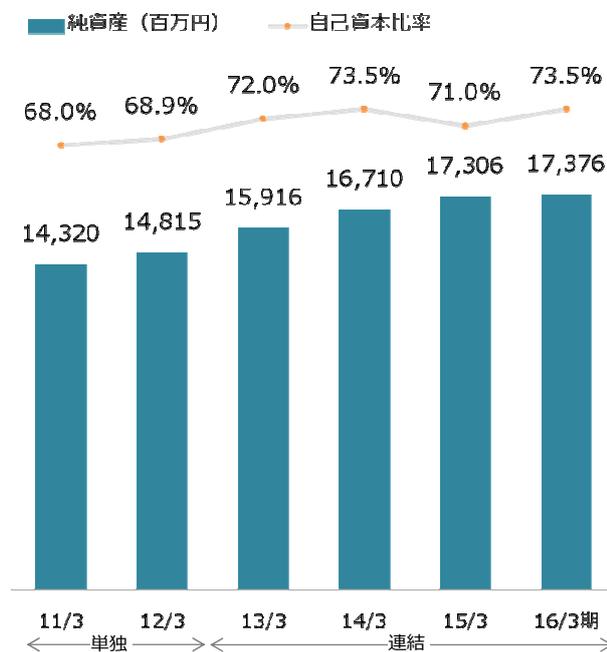


Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

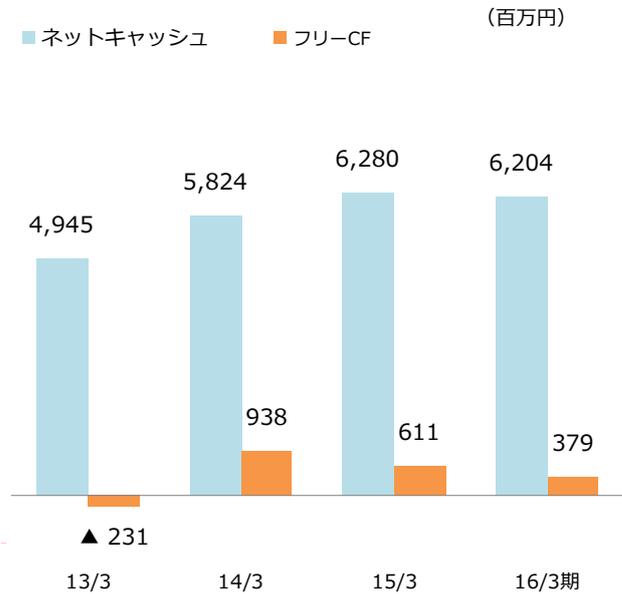
15

- 創業以来現在に至るまで**黒字経営**を継続し、高い自己資本比率を維持
- 手元資金も潤沢

純資産・自己資本比率推移



ネットキャッシュ残高・フリーCF推移



※ネットキャッシュ = (現預金 + 有価証券) - (短期借入金 + 1年以内返済予定長期借入金 + 長期借入金)

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

16

page

I : 会社概要	2
II : 当社の特長	9
III : 2017年3月期第2四半期 業績概要	17
IV : 2017年3月期 業績見通し	24
V : 成長戦略	29
VI : 参考資料	37

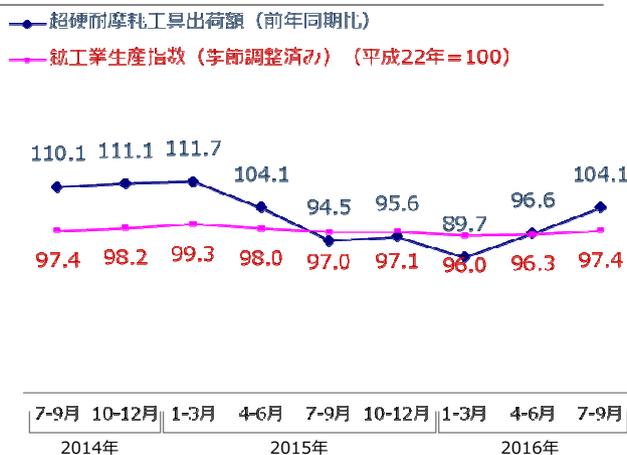
連結売上高	8,193 百万円	(前年同期比 102.1%) (計画比 99.2%)
連結営業利益	597 百万円	(前年同期比 128.8%) (計画比 105.1%)

- 概ね公表計画通りの進捗
- 売上高は、国内販売が堅調に推移したことに加えて、アジア新興国向けの販売が回復したことにより、前年同期比増収を確保した
- 需要分野別では引き続き“輸送用機械”向け、“金型・工具向け素材”が好調であったことに加え、“電機・電子部品”向けが復調
- 利益面では、人件費や設備関係などコスト増の要因がいくつかあったものの、増収効果により前年同期比大幅増益となった

2017年3月期第2四半期の事業環境

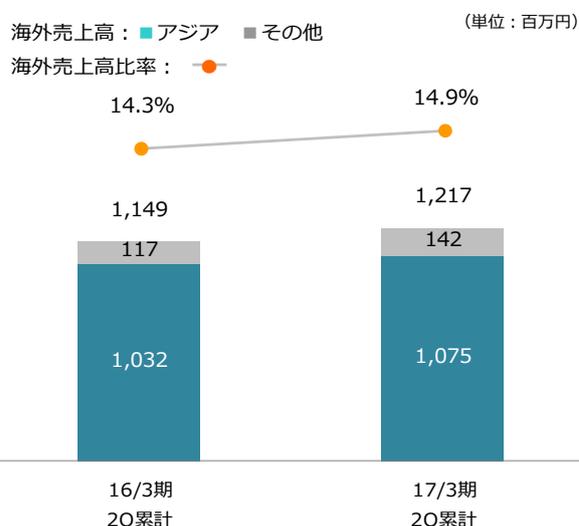
- 日本の景況が緩やかな回復基調にあることを背景に16年7-9月の超硬耐摩耗工具出荷額が1年振りに前年同期比プラスに転じた
- 海外の取引社数は着実に拡大（16年9月末現在552社中、2Q増加分44社）しているものの、大口取引先の生産下方修正の影響を大きく受けた

超硬工具出荷額推移



出所：日本機械工具工業会 『超硬工具統計』
経済産業省 『鉱工業指数』

海外売上高・海外売上高比率推移



(単位：百万円、下段は構成比)

	2016年3月期 第2四半期累計	2017年3月期第2四半期累計	
			前年同期比
売上高	8,026 (100.0%)	8,193 (100.0%)	102.1%
超硬製工具類	2,151 (26.8%)	2,157 (26.3%)	100.3%
超硬製金型類	2,013 (25.1%)	2,108 (25.7%)	104.7%
その他の超硬製品	1,769 (22.0%)	1,782 (21.8%)	100.8%
その他超硬以外	2,093 (26.1%)	2,145 (26.2%)	102.5%
売上総利益	1,938 (24.2%)	2,073 (25.3%)	107.0%
販管費	1,474 (18.4%)	1,475 (18.0%)	100.1%
営業利益	464 (5.8%)	597 (7.3%)	128.8%
経常利益	447 (5.6%)	574 (7.0%)	128.5%
親会社株主に 帰属する四半期純利益	302 (3.8%)	398 (4.9%)	131.4%

主な増減要因

▷売上高

・**超硬製工具類**：国内向け大型パイプ用ダイス、海外向け生産設備用の刃物類が低調も、海外向け熱間圧延ロールや混練工具の販売が好調

・**超硬製金型類**：製缶金型や樹脂製品用金型が増加。電池関連金型や自動車部品生産用金型等は引き続き好調

・**その他の超硬製品**：電子部品向け超硬合金チップや粉末成形金型用の超硬合金チップが堅調

・**超硬以外**：半導体用の混練工具や引抜鋼管が堅調

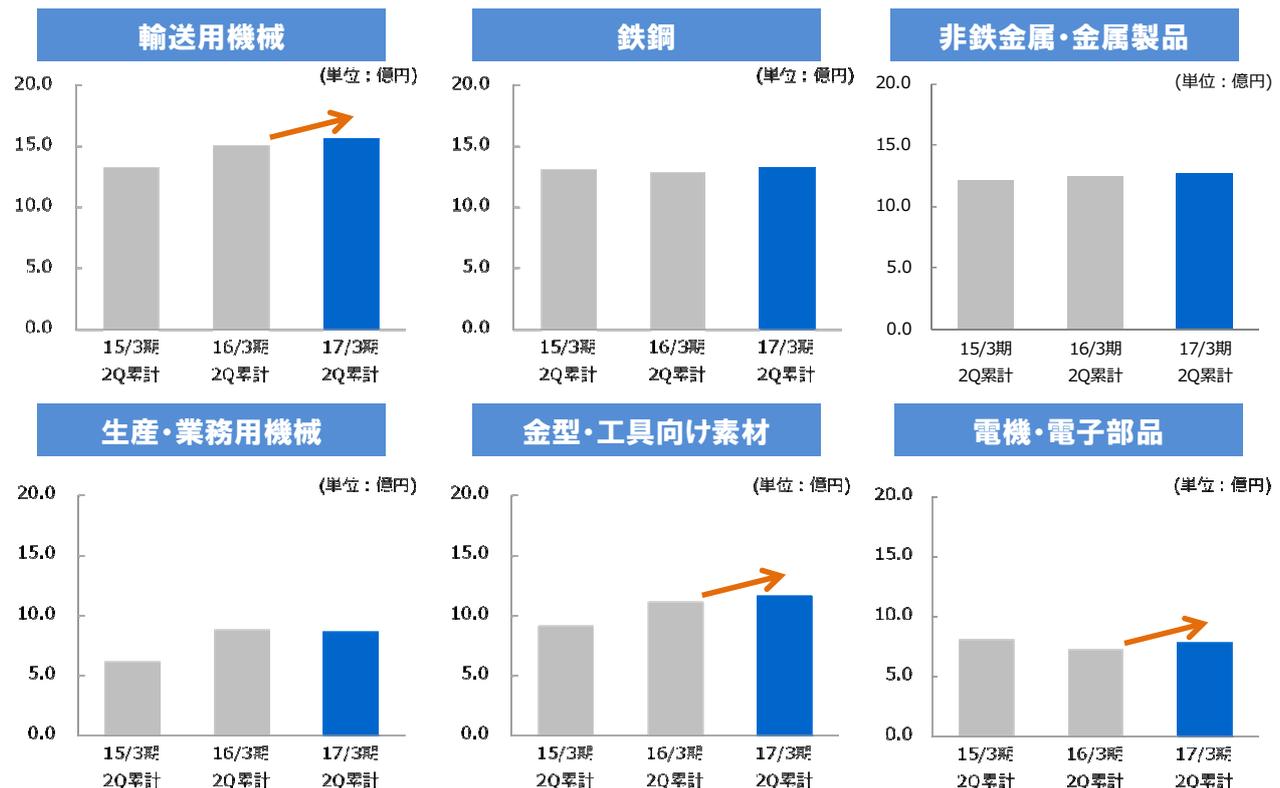
▷売上総利益

売上総額の拡大に伴い増加

▷経常利益

株式公開費用がなくなったが、円高進行による為替差損が拡大

需要分野別状況 (単体ベース、売上高)



(単位：百万円、下段は構成比)

	2016年3月期末	2017年3月期第2四半期末	
			前期末比増減
流動資産	13,995 (59.2%)	13,268 (55.6%)	▲727
固定資産	9,638 (40.8%)	10,573 (44.3%)	+934
資産合計	23,633 (100.0%)	23,842 (100.0%)	+209
流動負債	4,347 (18.4%)	4,782 (20.1%)	+435
固定負債	1,909 (8.1%)	1,910 (8.0%)	+1
負債合計	6,257 (26.5%)	6,693 (28.1%)	+436
純資産合計	17,376 (73.5%)	17,148 (71.9%)	▲228
負債・純資産合計	23,633 (100.0%)	23,842 (100.0%)	+209

主な増減要因

▷流動資産

現金及び預金 ▲625
受取手形及び売掛金 +160
原材料及び貯蔵品 ▲133

▷固定資産

建物及び構築物 ▲152
建設仮勘定 +1,049

▷流動負債

支払手形及び買掛金 +534
未払費用 ▲491
賞与引当金 +509

▷固定負債

長期借入金 +12
リース債務 ▲13

▷純資産

利益剰余金 ▲42
為替換算調整勘定 ▲206

(単位：百万円)

	2017年3月期 第2四半期累計
現金及び現金同等物の期首残高	6,583
営業キャッシュフロー	1,118
投資キャッシュフロー	▲1,220
財務キャッシュフロー	▲416
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,983
フリーキャッシュフロー	▲102

主な内容

▷営業キャッシュフロー

税金等調整前四半期純利益 540
減価償却費 468
賞与引当金の増加 509
売上債権の増加 ▲187
未払費用の減少 ▲488

▷投資キャッシュフロー

有形固定資産の取得 ▲1,152
無形固定資産の取得 ▲72

▷財務キャッシュフロー

長期借入れによる収入 78
配当金の支払額 ▲440

	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	9
III : 2017年3月期第2四半期 業績概要	17
IV : 2017年3月期 業績見通し	24
V : 成長戦略	29
VI : 参考資料	37

顧客産業分類別 市場動向と当社の取り組み

需要分野	市場動向と当社の取り組み	前回見込み	今回見込み
輸送用機械	為替の影響を受け国内生産量の苦戦が予想されるが、当社においては環境対策車および次世代自動車向けの部品成形用金型を積極的に取り込んでおり、前期比増加見込み		
鉄鋼	世界的な鉄鋼の供給過剰を受け国内高炉メーカー向け工具は減少を予想しているが、新興国向けの需要取込にて前期比微増を予測		
非鉄金属・金属製品	当社主力製品のひとつである飲料缶の成形金型は増加を見込むものの、家電向けの成形金型の落込みまでカバーできず前期比微減を予測		
生産・業務用機械	光学機器用金型は前期並み。半導体製造装置や金属加工用の装置の国内生産がやや苦戦ながら高圧関連工具が増加し、全体では前期並みを予測		
電機・電子部品	磁石、電池向けは前期並みだが、半導体素材の成形工具の増加により全体では前期比増加を予測		
金型・工具向け素材	超硬素材はアジアを中心に、超硬以外の素材に関しては、特殊用途を中心に国内での拡販を進め、全体では前期比増加を見込む		

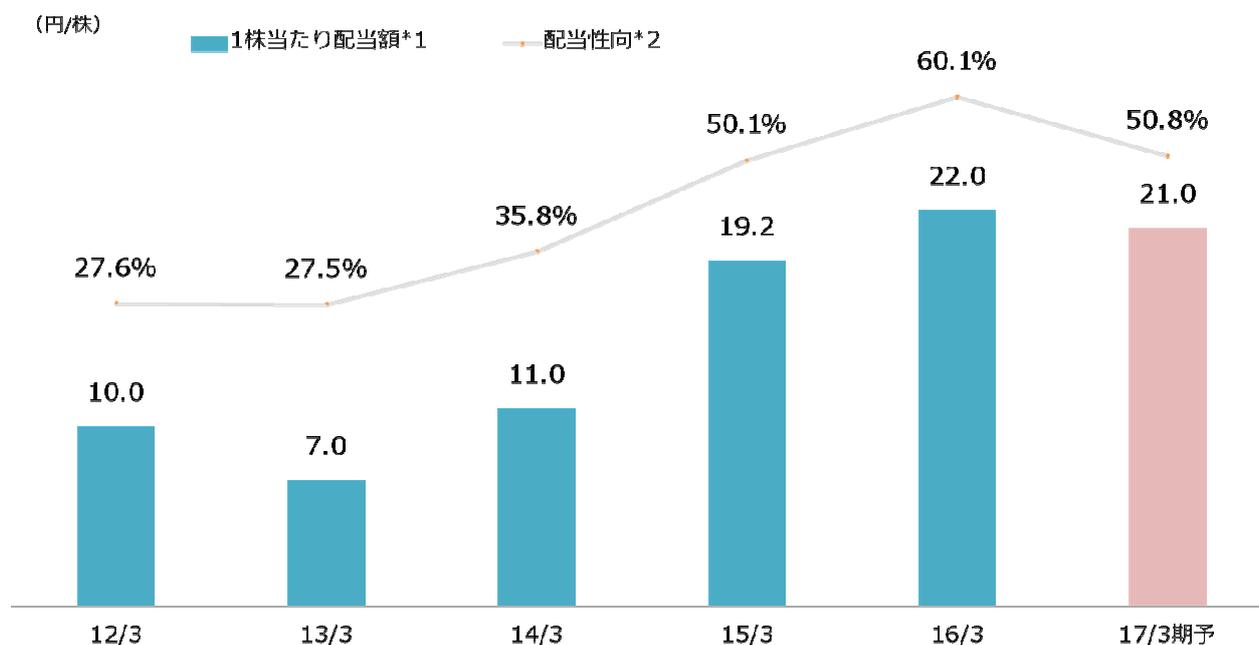
■ 通期計画は期初計画を据え置き

(単位：百万円、下段は構成比)

	2016年3月期	2017年3月期	
		計画	前期比
売上高	16,060 (100.0%)	16,571 (100.0%)	103.2%
営業利益	963 (6.0%)	1,086 (6.6%)	112.8%
経常利益	959 (6.0%)	1,145 (6.9%)	119.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	732 (4.6%)	827 (5.0%)	112.9%

株主還元方針

連結配当性向を50%を目処に適切な利益配分を実施



*1：15/1に1→100の株式分割を実施。遡及値。
*2：12/3は単独ベース、13/3以降は連結ベース

JIMTOF 2016とは

2016年11月17日から22日まで東京ビックサイトにて開催されたアジア最大級の工作機械見本市。2年に一度開催され、今回で28回目の開催。出展企業は世界16カ国から880社を超える。

内 容

1. 超硬合金の原料粉末から金型の完成品まで、当社の一貫生産体制をサンプル展示で分かりやすく説明
2. ナノ微粒合金Sシリーズ、高熱膨張サーメット、高熱伝導素材FHT等、高度な粉末冶金技術による製品紹介
3. “和”をテーマにした落ち着いたあるブースで、ご来場の皆様に一息ついていただける空間のご提供



製品区分	内 容
開発品・冶金技術	1. 超微粒超硬合金 Sシリーズ 2. 高熱膨張サーメット 3. ワイヤークットに適した超硬新素材 4. 高熱伝導材料 (FHT: FUJILLOY High Thermal Conducting Material)
耐摩耗金型	5. ヘリカルギアダイ・スプラインマンドレル (自動車部品用金型 内) 6. 鍛造ダイ・パンチ (自動車用品用金型 内) 7. 電池部品用金型
耐摩耗工具	8. 超硬ロール 9. ダイス・プラグ、Gプラグ・Gロール 10. キュービックアンビル
粉末冶金技術	11. 銅タンクステン、NFメタル、ポーラス合金 12. セラミックス 13. 研削砥石

	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	9
III : 2017年3月期第2四半期 業績概要	17
IV : 2017年3月期 業績見通し	24
V : 成長戦略	29
VI : 参考資料	37

POINT1

業務の効率化による収益率の向上

POINT2

海外売上の拡大

POINT3

成長分野への注力

POINT1

業務の効率化による収益率の向上①

- 国内製造部門における生産特性を考慮した**製品、拠点の集約、再構築**
- 生産の**自動化**や**省人化**などの生産工程の効率化
- より効率的で筋肉質な企業体質を目指し営業拠点の集約を実施（2016年10月）

熊本製造所の増設

営業拠点の集約化（2016年10月1日付）

▼熊本製造所 増設部外観



- 投資実行金額 17 億円
- 延床面積 10,258 m²

▼スケジュール

2016年	2017年	2018年	2019年
着工（15年12月）			
	操業開始（16年11月）		
		（18年12月）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産ラインの移設完了 ・ IT化移行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複雑形状の生産ライン増強 	

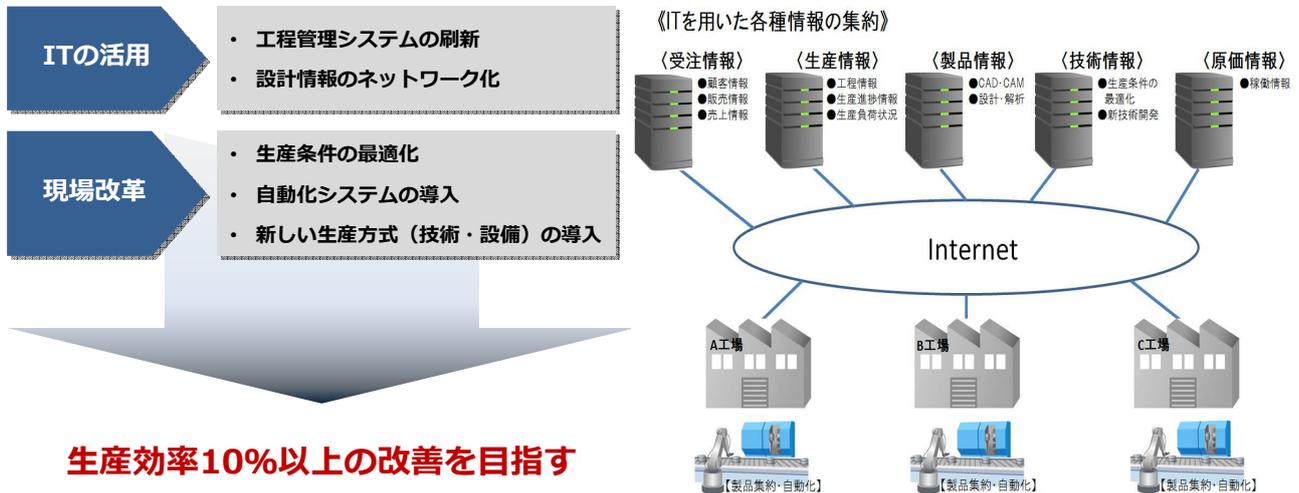
16ヶ所 ⇒ 13ヶ所

- 宮城営業所 ⇒ 郡山営業課に統合
- 浜松営業所 ⇒ 秦野営業課または名古屋営業課に統合
- 広島営業所 ⇒ 岡山営業課または門司営業課に統合

営業体制の強化及び業務効率化を更に推進

- 国内製造部門における生産特性を考慮した**製品**、**拠点の集約**、**再構築**
- 生産の**自動化**や**省人化**などの生産工程の効率化
- より効率的で筋肉質な企業体質を目指し営業拠点の集約を実施（2016年10月）

生産改革の進捗状況

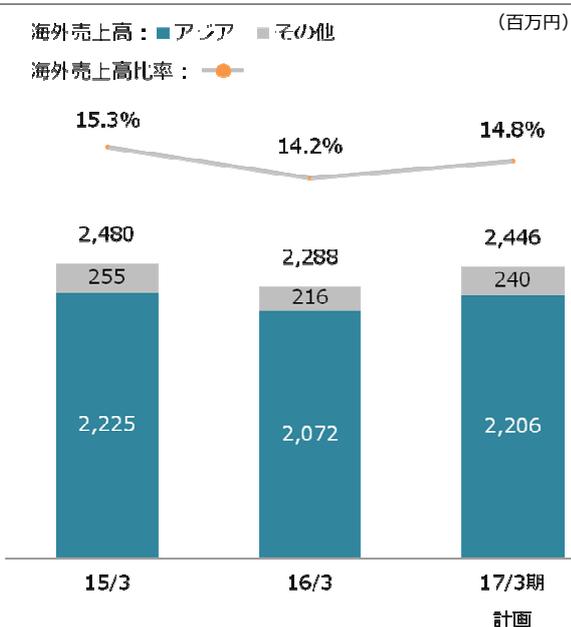


Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

32

- **自動車部品メーカー**向け拡販に注力
- **高付加価値製品**の販売を増加させていく

海外売上高・海外売上高比率推移



TOPICS：タイでの生産品目の拡大



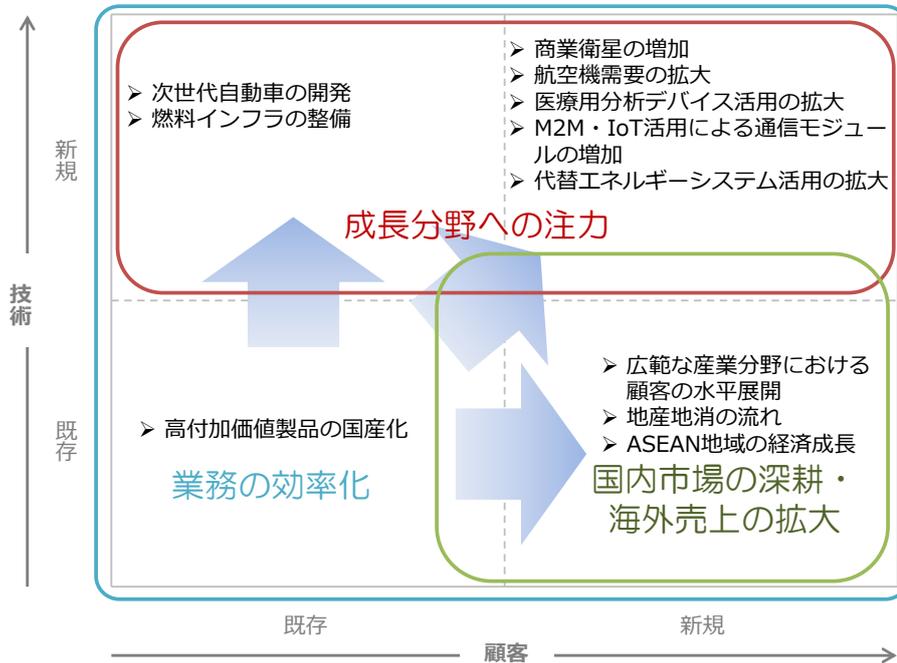
FTC (FUJILLOY Thailand Co., Ltd.)

- FTCは当社のアジア戦略における販売・生産の主要拠点として位置付け
- より高度化する市場ニーズに対応するべく、異形金型や高精度丸物金型などを生産可能な体制を構築していく

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

33

- 継続成長を目指し、恒常的に業務の効率化を進め、経済成長が見込まれるアジア地域を中心とした海外売上の拡大を図るとともに、成長分野への研究開発に注力していく



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

34

成長分野の進捗状況

分野	概要	素材	優位性	進捗状況	販売時期(予定)		
					2015年	2016年	2017年
次世代自動車	①モーター用抜き金型	①超硬合金	①材料技術	①サンプル準備中		●	→
	②車載電池用金型	②超硬合金	②加工技術	②販売中	→		
	③過給器用機械部品	③複合材料	③コスト低減	③サンプル出荷済			● →
航空・宇宙	①航空機エンジンタービン加工向け工具	①セラミックス	①特許取得	①販売中 (量産体制構築中)		●	→
	②燃料ポンプ用摺動材	②複合材料	②環境対応	②サンプル出荷済			● →
医療・化粧品	①分析マイクロチップ用金型(μ-流路)	①超硬合金	①加工技術	①サンプル準備中		●	→
	②ドラッグデリバリーシステム用金型	②複合材料	②加工技術	②サンプル出荷済		●	→
環境・エネルギー	①半導体向け高熱伝導用素材	①複合材料	①特許取得	①販売開始		●	→
	②高圧合成法を用いた触媒	②新物質	②特許取得	②サンプル準備中			● →
その他	①赤外線レンズ用金型	①複合材料	①特許出願	①サンプル出荷済		●	→
	②高圧発生装置用素材	②超硬合金	②特許取得	②販売中	→		

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

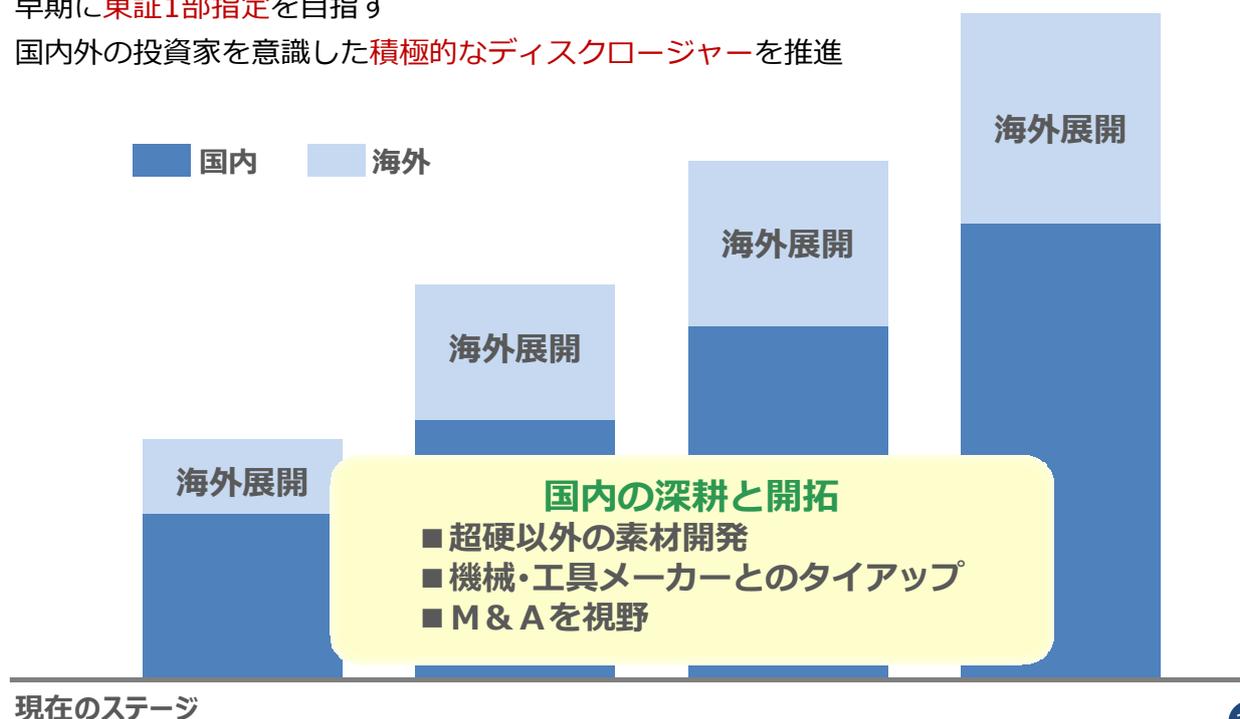
35

圧倒的な技術力を生かし持続的成長を目指す

配当性向50%を目処とする株主還元

早期に東証1部指定を目指す

国内外の投資家を意識した積極的なディスクロージャーを推進



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

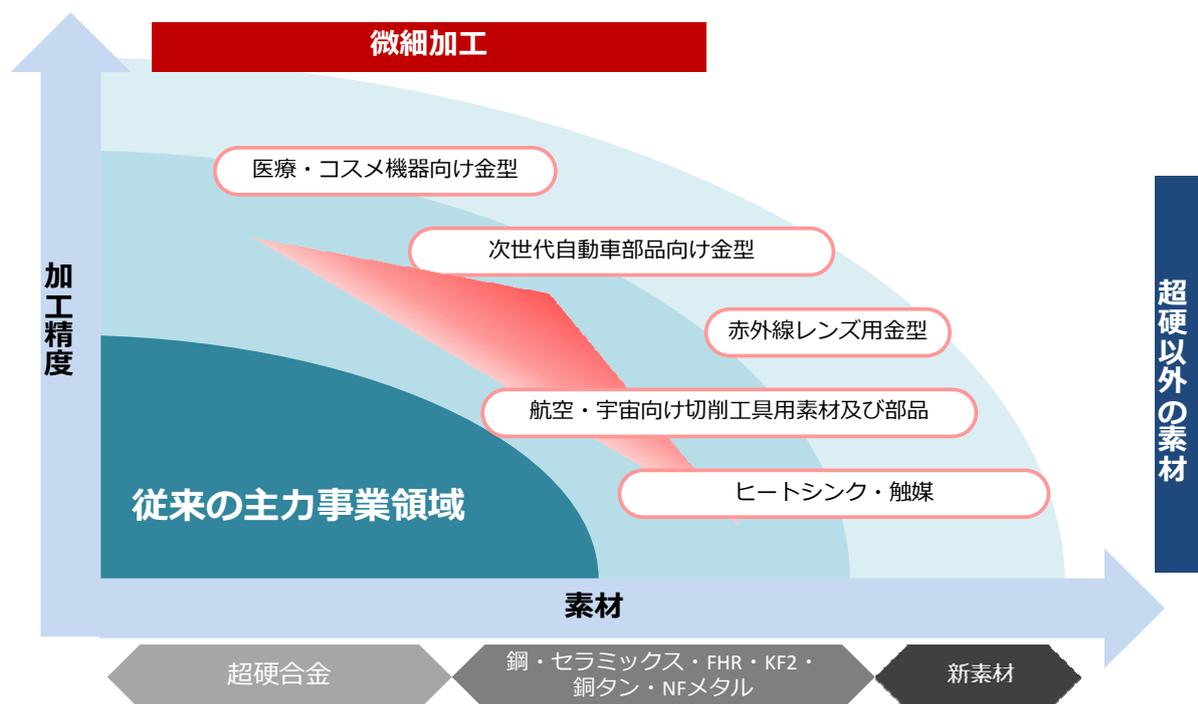
36

	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	9
III : 2017年3月期第2四半期 業績概要	17
IV : 2017年3月期 業績見通し	24
V : 成長戦略	29
VI : 参考資料	37

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

37

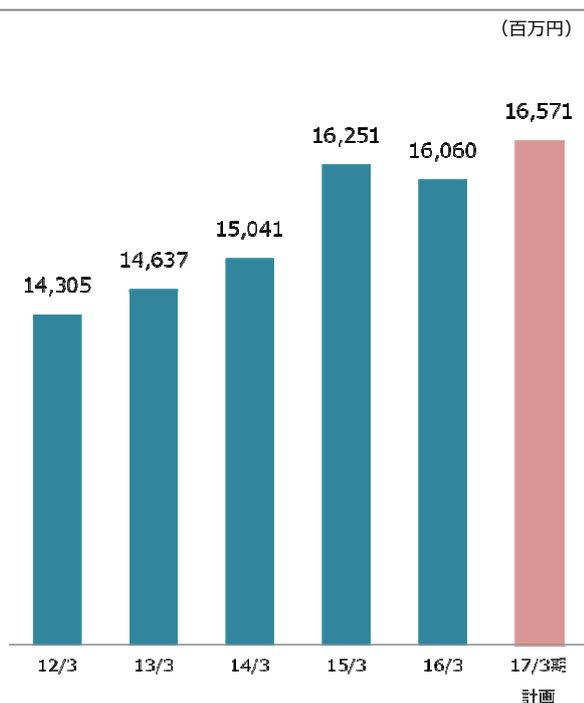
- 粉末冶金技術を駆使した**新材料**の研究開発を強化し、**耐摩耗工具以外**へ進出
- **超精密加工技術**を用いて研究開発を進展させ、**新しい産業分野**を開拓



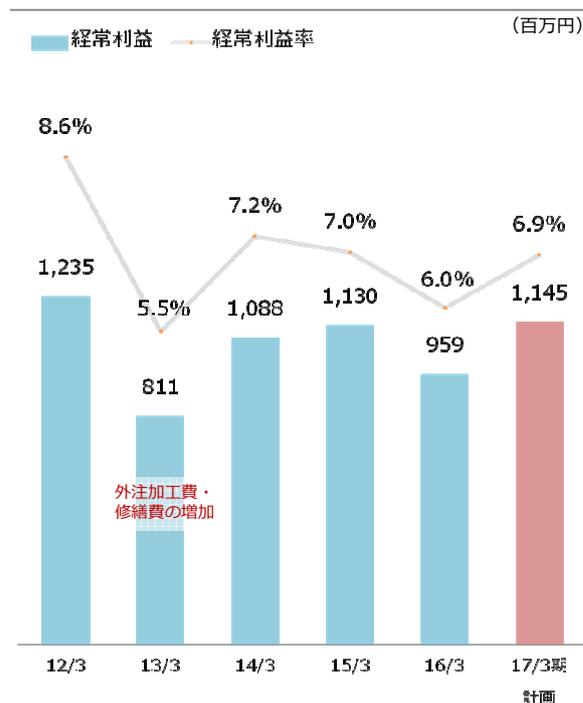
Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

業績の推移 1/3

売上高

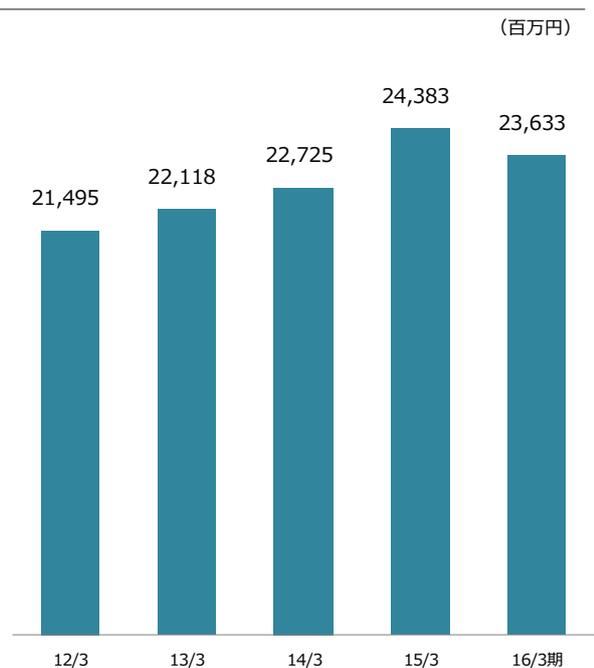


経常利益



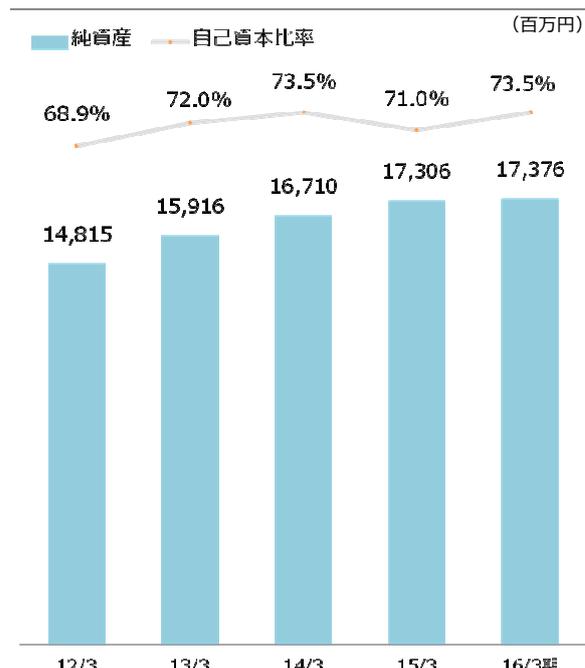
Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

総資産



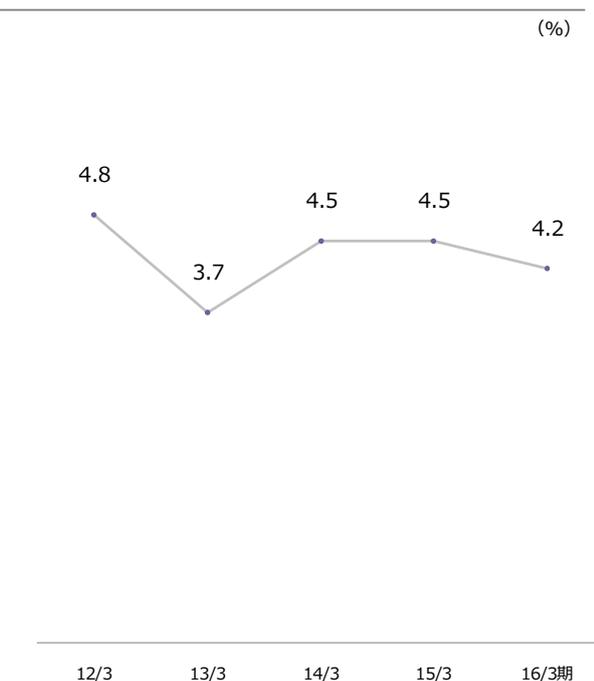
← 単独 → ← 連結 →

純資産



← 単独 → ← 連結 →

ROE



← 単独 → ← 連結 →

当資料は、富士ダイス株式会社の現状をご理解いただくことを目的として、作成したものです。当資料に記載した内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成しており、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。

また、当資料には見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものがあり、当資料に記載されている内容とは異なる結果を生ずる不確実性（市場、金利、為替の変動といった国内外の経済状況等）が含まれております。今後、新たな情報や出来事等が発生した場合、当社は本資料の更新・修正を行う義務を負うものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

尚、情報の掲載には細心の注意を払っておりますが、情報の誤りや改ざん、データのダウンロード等で被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。